

○事業所名	横浜市北部地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～	令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	86	(回答者数)	65
○従業者評価実施期間	令和8年1月14日		～	令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが分かりやすく、意欲的に活動に取り組めるように、個々の発達の特性に合わせた支援プログラムを提供しています。クラス担任だけでなく、チームでお子さんの状態を話し合い、支援を多角的に考えていきます。	専門職種を含むチームでのアセスメントを行い、個別の支援計画書を作成してまいります。支援内容を柔軟にお子さんの発達に合わせていけるように児発管・園長・フリースタッフが柔軟にクラスに援助できるようにします	5領域を意識しながら視点を固定せずビデオを見ながら振り返り、チームで話し合う機会を増やしていきます。職員と保護者の方が同じ方向性で支援を進めていくことが出来るように支援の根拠を持って進めていきます。
2	親子通園を実施しており、実際の療育やお子さんの様子をその場で見ながら、保護者の方とお子さんの特性や対応を共有することが出来ています。また保護者向け勉強会を様々なテーマで実施しています。	親子通園日には集団療育中に保護者の方とお子さんの様子を共有できるよう、職員間で動き方や流れの綿密なミーティングを行っています。また日々の困りごとに間してタイムリーに対応出来るように、個別面談や電話相談にも対応していきます。	考え方を共有できるように、保護者の方が聞いた勉強会を職員同士で理解をする場を設け、さらにセンター外の勉強会への参加と報告会を構築していきます。
3	専門性を持ちお子さんへの支援を通じて、ご家庭での生活や地域で安心して過ごせることを目指し、地域との連携をより強化していきたいと思えます。	希望制で家庭訪問を行っています。また療育参観週間を設け、園の先生方と情報を共有することや園訪問を実施していますが、訪問に関しては療育の人員体制上難しく頻度は限られている現状です。学校への引継ぎも9割の学校と連携をとることが出来ています。	幼稚園・保育園のみならず、民間児童発達支援事業所と連携を積極的にとらせて頂けるよう検討してまいります。また、地域の子育て拠点や訓練会、地域活動ホームなど、関わりが持てるよう積極的に取り組んでまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設・設備の老朽化が進んでおり、早急な改善が必要と感じています。熱交換器の不具合や西側の空調機近くのクラスの高温化対策、園庭の日よけが設置出来ないことに対する新しい対応策がない状況です。	創立から30年を超え、様々な設備が老朽化しています。定期的に設備点検はしておりますが、交換が必要なものは大規模な修繕が必要となります。設備の改善策は今までも業者と共に検討してきましたが、構造上改善が難しいものも多くありました。	令和8年は熱交換器とエレベーターの大型改修工事を行います。老朽化した箇所の改修工事は優先順位をつけて今後も行っていきます。設備に関しては今の構造からできる範囲での対策を他施設での例も参考に引き続き取り組んで参ります。
2	療育プログラムのマンネリ化	日々の療育のプログラムはお子さんの特性や発達段階、興味関心に合わせて取り組んでいますが、課題や取り組みそのものが継続児であっても代り映えのしない課題になっていることが見受けられます。	お子さんがを自発的に取り組み、楽しく参加できるプログラムを年齢や発達段階に応じて、バリエーションを広げ展開していけるように、職員間で共有していただける場を設けることやクラス担任だけでなく様々な職種の意見も取り入れながら広げていきたいと思えます。
3	SNSを利用した配信のなさ。紙ベースでの情報提供の多さ。	幼稚園・保育園・他の事業所に比べ、SNSを使った保護者との情報共有や配信のなさがあり、保護者の方からもご要望の声を聞いています。紙ベースからSNSに個人情報保護しながら、見落としやコミュニケーション不足やアクシデントに繋がらないことを考え、何から移行していくか優先順位をつけることができておりません。	保護者の方とコミュニケーションをしっかりとりたい場面と情報の伝達と分け、アクシデントにつながらずに行えるものは何か、どのような手段があるのか検討していきたいと思えます。

事業所名 横浜市北部地域療育センター
(児童発達支援センター)

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 86名

回収数 65名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	57	5	1	0	・特に遊戯室が広い。 ・運動する部屋が複数あり、屋上も遊具 があって楽しく活動できている。 ・クラスの人数を分けて行動すること でより十分な確保がされていると思いま す。 ・遊戯室は人が多い時間帯はぶつかるこ となどもあり、少し不安を感じるときが ありました。	子どもたちが十分に体を使って遊べる空 間を確保すると共に、安全に過ごせる設 定や、遊びの幅が広がるような工夫をし ていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	53	8	1	0	・必ず話しかけられる先生がいるので安 心 ・全体的に見ているわけではないのです べてはわかりませんが常に先生が子ども たちのことを考えて見渡して配慮してく ださっています。 ・よく見てくださっていますが、先生方 のご負担を考えるともう少し人員がい らっしゃるといいと思います。 ・もう少し多いほうがいいと思う。 ・ひとりがグズグズしたときにその子に 先生がつくと手薄いと感じる。 ・単独登園時、少し人員が足りてない と思うときがある。	必要なクラスにフリー職員の配置が出来 るようにしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	59	4	0	0	・不満を感じたことはない。 ・こどもも迷うことなく行動できている ところを見ていると適切にしていただけ だと思います。 ・どこを見ても視覚的にわかるカードが しっかりあります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	58	3	2	0	・いつもとてもきれいで特にトイレの においがなくていいです。 ・トイレの床が濡れていることがあり、 時々気になる。 ・少人数クラスですが、活動内容に合わ せてさらに人数を分けて過ごせてあり がたいです。 ・視覚化されているものが多く本人もわ かりやすいのか指示に従っている。 ・施設が古いので、トイレとかもう少し 明るくきれいになったらうれしいです。 ・常にきれいで子供が安全で過ごしやすい 環境だと思います。	施設の老朽化はありますが、清潔な環境 を維持していけるよう努力していきま す。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	62	0	1	0	・一人ずつ合うことがバラバラなのに ちゃんと対応してくださいました。 ・NS以外常駐していない？が思っ ていたのと違いました。 ・決まった流れに固定しないでその都度 本人の問題に応じた対応をしてくれる。 ・子どもの特性をよく理解していただき イレギュラーが起きたとしても十分な支 援をしていただいています。 ・自分の子どもだけでなくクラス一人 ひとりに合わせて支援されていると思 う。	多職種の通園への入り方について、説明 会や年度初めに説明していますが、保護 者の方にとって連携の実感が持てるよう な支援をしています。	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	58	2	0	3	支援プログラムは上回るくらいだと思っ ています。		

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	63	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものこと、とても分かりやすく言語化していただき、特総資料作成の際でも参考になりました。 ・その都度の本人の課題を的確に分析していると思う。 ・その時その時に対応してもらい、基本は計画書通りに進められるようにしてくれています。 ・週一回で子どもの特性、性格すごく細かく理解されていると感じます。 	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	61	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく書かれている。 ・毎回細かなところまで子どものことを理解し取り組み方も先のほうまで考えていただいています。 	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	62	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・受けられている。 ・年度初めに説明していただいた計画に沿って子どもに合う支援がされています。 	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	54	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回色々なプログラムが決められており楽しめていると思いました。 ・固定化されていると思う。 ・本人の問題に臨機応変に対応してくれている。 ・たくさんのお子さんがあるなかで一人ひとりに会うプログラムを立ててくれています。 	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	11	24	7	<ul style="list-style-type: none"> ・外部交流（こども）はないと思います。 ・地域の小学校に行くかもしれないことを考えると健常児との交流もあると嬉しいです。 ・並行して通っている幼稚園に先生方が参観しに行ってください、先生たち同士で保育の方法等話し合ってもらえたのがありがたかった。 ・公園は何にどう反応するか行動が読めないで行けず、他の子供との交流はつれていない。 ・本人は幼稚園にも通っているが療育が他のところと関わっているのかはわからない。 ・これはあまり支援されていないように思います。 ・他のお子さんはありませんが地域での取り組みはあります。 	地域の幼稚園・保育園との交流は以前は行っていましたが、コロナを機に実施しておらず、今後前向きに検討していきます。
保護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	61	1	1	0	定期的に行われ丁寧に説明していただいています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	63	0	0	0	こどものことをよく見ていただいているといつも説明をしていただいている時に思います。いつも丁寧です。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん勉強会があつてためになっている ・家で困っていることなどを相談する度、親身に考えいろいろ機会があります。 	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	63	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに話せる距離に先生がいるので助かっている ・担任の先生はもちろん他の先生がたも状況を理解し助けていただいています。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	63	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも先生方にいるんな相談させていただいて助かっています。 ・良くアドバイスもらえている。 ・積極的に支援について考えて今後についての助言をしていただいています。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	62	1	0	0	常に子供と保護者のことを考えてくれ共感していただいています。	

者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38	14	4	7	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟同士の交流はない。 ・保護者同士の交流はあるが兄弟への支援は受けたことがありません。 ・週1クラスだったため特にそのような機会はなかった。 ・保護者会など何度も交流の機会や学べる事があり、こちらに予定がありいけない時も別日に説明していただいています。 ・兄弟に関するイベントは存在していないと思う。 	きょうだい児本人対象の支援は実施しておりませんが、きょうだいで障害を持つ保護者の会を今年から有志で開催致しました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	56	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・常に対応の体制が整っており、何か困った時には迅速に対応していただき助かっています。 ・周知はされていないように感じました。 	ご相談や申し入れに関して、タイムリーにかつ迅速に対応できるような体制を整えていきます。また、いつでもご相談頂けることをインフォメーションしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	59	0	0	0	担任の先生だけでなくほかの先生方も把握していただいているので何事もなく配慮もしていただけています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41	8	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・単独時の活動内容の報告をもう少し工夫できないかHUGを使うなど。 ・通信に関してはあります。ホームページやSNSは見ることがないのでわかりません。 	個人情報保護の観点や職員の業務を時間内の療育を最優先と考えており、現状は実施できておりませんがニーズがあることを受け止めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	58	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のファイルに書類等が管理されているので留意していると思います。 ・園内の別のクラスの子の名前も秘密にするのは行き過ぎていて不便に感じました。 	個人情報の保護に関する対応については法人のルールに従って実施しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	55	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練くらい？ ・説明、周知については把握できています。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	56	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 ・保護者が参加する避難訓練を見ても迅速かつ安全に訓練されています。 	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	57	2	0	0	ドアにはきちんと鍵もついており常に安全でセキュリティーもされていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	56	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく説明してくれている。 ・事故とまではいかなくても何かあればそのことをきちんと説明がされ今後の対応も知れています。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	58	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日とても楽しく通所出来てありがたいです。 ・先生方に子ども自ら手をつないだり、一緒に教室へいく姿を見て安心できているのだとかんじます。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	58	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・していると思いたいが不明 ・楽しそうにしている。 ・休みの日でもうらやまそうして使うリュックを持っていきたがるほど楽しめていると思います。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	58	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本当によくしていただきました。ありがとうございます。 ・大満足ですいつもありがとうございます。 ・いつも子どもや綿伊s達保護者に対してもよく考えていただき大変満足しています。 	

事業所名	横浜市北部地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日		令和8年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	3		肢体クラスはもう少し広いスペースがあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	6		<ul style="list-style-type: none"> ・配置数は規定通りでも実際の現場で人手が足りないところあります。 ・配慮が必要なクラスには時短非常勤が入っている。 ・非常勤職員等配置の工夫はあるが、状態により決められた人数では厳しいと感じる。 ・適切ではあるが、行動障害のある児への対応などさらにいると良いと思うことがある。 ・短時間でいてほしい時はありますが… ・利用定員には合っていますが、子の状態に対しては、頻度ではなく状態に合わせて配置してほしいです。 ・全介助や介助量が多いお子さんに対しては人手が欲しい。3：1だと厳しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1		水道の位置など動線が難しいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	5		<ul style="list-style-type: none"> ・園庭に屋根やひさしをつけることが難しく夏場の遊び場所が少ない。 ・老朽化が気になる。 ・設備的な改善（ササクレや壁紙のはがれ等）必要あります。 ・毎日掃除をしているが床が傷んでいたり、網戸のすす汚れが気になる。 ・過ごし場が少なく夏は園庭に出られず発散できる場が欲しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	職員の工夫等でなんとか実現している状況だと思います。	パーティションの数がたりないことが多い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		意見は把握してくださっていますが、休憩や人材不足、残業などに伴う業務量削減はもう少し改善していただきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	2	状態像に合わせては、固定されたプログラムの中で積み重ねています。	見通しという意味では大切だが経験を積むという点では改善が必要。3年通っている子は、やり慣れてしまっており、母たちもほかにもプログラムがあると良いという意見あります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	その日あったことを共有しやすい環境です。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答)	12	2		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	12	2		課によっては年に一回程度しか参加できる体制ではない(時期を選ぶ)。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	2		
31	(31は、事業所のみ回答)	3	1			
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	12		医ケア児等が複数利用されている施設なのでコロナ以降行っていない。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1		・兄弟同士は現状として難しい。 ・きょうだいはない。 ・兄弟同士での交流は、それぞれの通い先もあり難しいと感じる。 ・兄弟同士が交流する機会は少ないが親子日の際兄弟保育の中で遊ぶ機会はある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	10	・センターとしてはないが、ラポールや療育を知ってもらうことをリハセンターでは始めている。 ・系列の施設でとりまめたイベントが実施されている。ラポールの祭典など。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0		細かい訓練はもっと実施してもいいかも。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	2		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	3		・身体拘束を行う状況には現在なっていない。
----	--	----	---	--	-----------------------

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市北部地域療育センター ぴーす中川 (児童発達支援事業所)			
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年12月6日		～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者がお子さんの特性について深く知ることができ、適切に関われるように支援していくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・親子日を設定し、保護者が小集団活動におけるお子さんの姿を参観する機会を作っている。 ・保護者がお子さんを育てる上で必要な知識や情報が得られるよう、療育勉強会・家族講座等を実施している。 	日々の保護者懇談を活かし、保護者がお子さんの様子を振り返れる機会を積極的に設定し、お子さんへの理解を深めていけるよう支援していく。
2	療育センターの医療と連携していること、専門的・総合的な支援が可能であること。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、診察を導入して医療との連携を図って支援をしている。 ・心理士、言語聴覚士、作業療法士が療育場面に入り、お子さんのアセスメントをしたうえで保育士・指導員の立てた課題や集団プログラムに対する助言を行っている。 	今後も医療の専門職と連携し、専門職からの助言を活かしてお子さんへの支援を考え実践していく。
3	関係機関や園と連携強化を図り、包括的にお子さんへの支援や保護支援を考えていくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・療育参観日を設定して、園の先生に担当するお子さんの療育の様子や職員の関わりを見ていただいている。 ・必要時、保護者の了解を得て、園の先生と連絡を取り、お子さんの様子を共有したり、支援のあり方や方法についてを確認・共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の先生とは今後も療育参観日や園訪問を通じてお子さんの支援方針・支援内容を共有していく。 ・必要時、電話でのやりとりも行き、適宜連携を図る。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんが併用して通う他の児童発達支援事業所との連携の強化	以前に比べ、他の児童発達支援を併用するお子さんが増えてきている一方で、積極的な連携は図れていない。	他の児童発達支援事業所向けの療育参観日の設定や必要時ぴーすの職員が訪問し、お子さんの様子を見せていただくなど、具体的な連携方法を考え、実践していく。
2	保護者同士の交流への支援の強化	勉強会や講座などは充実している一方で、保護者同士が子育てについて話しあったり、情報を共有できるような保護者懇談の時間が十分にとれていない。	日々行っている保護者懇談だけではなく、別途時間を設け、テーマを設定した保護者懇談を設けるなどの工夫が必要と感じる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時等の対策の強化 ・非常時マニュアルのインフォメーション不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・大災害に備え、緊急時マニュアルの見直しや設備や備品の確認が必要 ・災害時及び緊急時の対策のインフォメーションが年度当初の重要事項説明会のみとなっていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時マニュアルを見直し、内容のアップデートを図る。 ・備品や設備を確認し、足りていないものがあれば補充する。 ・避難訓練の日に緊急時の対応についてのインフォメーションを都度行う。

事業所名 横浜市北部地域療育センター
びーす中川（児童発達支援事業所）

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 45名

回収数 32名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	5	0	1	運動スペースは少し狭めだがラポールを利用して工夫している。	横浜ラポールでの月1程度の運動プログラムの実施を継続
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	4	0	0	先生方が手いっぱいであらざる状況でお手数おかけして申し訳ないです。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1	0	0	それぞれの子どもに合わせた支援がとても充実しているため安心して通わせることができています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	26	2	3	1	・必要がない。 ・日頃通っている保育園や幼稚園の先生向けに療育参観があり、こどもの様子を見てもらえた。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	1	0	0	勉強会もたくさんありますが、受講の時期がまとまっていて参加が大変	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	0	0	0	・先生とお話する機会が多いので、その都度助言をいただいています。 ・面談などで色々な相談に乗っていただき、就学に向けての不安も解消され安心できる場になっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	8	3	3	保護者同士の交流は設けられているがきょうだいはない。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	1	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	3	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	1	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	3	1	0	避難訓練はあるがマニュアルは不明	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	1	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	1	0	1	・毎回楽しみにしています。 ・日にもよりますが安心して通える場所になっています。 ・子どもの成長も感じられています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1	0	0	子どもへの支援だけでなく、保護者への支援（子育ての相談）もあり、親子で満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	横浜市北部地域療育センター びーす中川（児童発達支援事業所）		公表日		令和8年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	パーティションを使い、必要に応じて教室内で子どもの個別スペースを作り対応している。	こどもが個別に使用できる部屋がなく、クールダウンを図る場所の確保が難しい。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	/	/	/	/
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	/	/
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	0	北部地域療育センター本体の診療や相談部との連携を図りながらサービスを提供している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		保護者懇談は行っているが、職員からの情報提供や報告が中心で、保護者同士で交流する機会が設けられていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	3	クラス便りを年に7回発行している他、学校向け連絡網サービスを利用し、必要時、保護者への連絡を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3		BCPについての情報がない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市北部地域療育センター 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～	令和8年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～	令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月16日		～	令和8年3月6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ソーシャルワーカー、保育士、心理士、理学療法士、作業療法士、言語療法士など、センターに所属する様々な職種が支援に関わることができる。	園の先生からのニーズを丁寧にききとり、ニーズに合わせた訪問計画を立てている。また児に関わる支援者同士で、情報を共有し、専門性を生かした提案ができるように心がけている。	来年度は通園職員も地域支援に携わっていくため、保育所等訪問でも連携しながら実施できると良い。
2	「関係機関技術援助」事業で培ってきた担当区内の各園との関係性があるため、連携がとりやすい。	新たに利用する園には、機関への支援である「技術援助」と、より個別性の高い「保育所等訪問支援」の目的の違いを園の先生と確認できるよう、開始時に説明を丁寧にしよう心がけた。	引き続き園の保育方針を尊重しつつ、センターの専門性を生かして実施していきたい。児に合わせた支援を園とセンターで協力しながら実施する中で、支援が必要なお子さんへの支援の質の向上につながると良い。
3	保護者と児の特性や児に合わせた関わり方を共有し、保護者の支援につなげることができる。	保護者への報告の際、園生活で必要な支援や具体的な関わり方を丁寧に報告するように心がけている。	引き続き保護者に対して、児のアセスメントを基にした訪問支援での対応を報告し、特性理解や相談関係を深めていけると良い。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問の人数や園、訪問回数を増やすことが難しい。	どのスタッフもセンター内の業務と兼ねているため、訪問の時間や回数を増やすことが困難	年間でそれぞれが行う業務のマニュアルを適宜更新しながらすすめている。ただ、書類作成や記録などの事務的な作業や園や他職種との調整連絡などは煩雑で、引き続き効率化できる点を検討していく。
2	外国につながる保護者との契約手続きや報告の際、スムーズにすまないことがある。	外国語をコミュニケーションの主とする保護者に対して日本語の書類の対応が難しい。個々の訪問員の対応にまかされており、センターとしての課題として取り上げていない。	個々の訪問員からの意見を聞き取り、外国につながる保護者にとっても利用しやすい進め方を検討していく。
3			

事業所名	横浜市北部地域療育センター 保育所等訪問支援
------	---------------------------

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 4名

回収数 2名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	0	0	1		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	0	1	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
保護者 への 説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	0	1	0	0		今後は保護者向けプログラムの周知を図ります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	2	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0			
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	0	0	0			

非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和8年3月26日

横浜市北部地域療育センター
保育所等訪問支援

訪問先数 4

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	0	0	働きかけ方などを教えてもらいありがたかった。助言をいただいたおかげで行事に参加する姿を見ることができた。	引き続きお子さんに合わせた対応で、園で取り入れやすい助言や説明をしていきたいと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1	0	専門的な知識や技術を聞き取り入れることができた。療育センターの職員がどう関わるかを客観的に見れると良かった。	引き続き多職種が関わっていきます。直接的な関わりは園生活に支障のない範囲で検討したいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	0	0	その場で質問したことをにすぐお答え頂けた。細かい所まで相談ができ、職員のスキルや技術向上につながられた。	引き続きお子さんに合わせた対応について、適時・適切に回答していきたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1	0	助言を受けて実践した結果、困りごとが解消し助かった。療育センターの職員の声掛けや必要な手がかりを知りたい。	訪問支援を通して園との連携を深められたと感じています。より具体的な対応を伝えることを心がけていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1	0	月1回ごまめに来て頂き長時間様子を見て頂き満足しています。常に相談できる環境で園全体の学びの場になりました。	定期的な訪問支援の中で、実践→振り返り→実践の流れができ、お子さんの支援を深まるよい機会になりました。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、園、療育の三者の連携が実を結び、お子さんの大きな自信につながったと思う。 ・指導員・心理士だけでなく作業療法士等による椅子の工夫や感覚面を意識した遊びを教えてくださいました。 ・専門的な話を毎月聞けることで心強かったです。 					<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の職員が訪問支援事業に関わることで、支援が必要なお子さんへの関わり方を一緒に考えたり助言をすることで、お子さんの園生活の充実につながったと思います。 ・日常の園に訪問させて頂きますので、支障のない範囲でより具体的に実践しやすい助言をこちらでかけていきます。 	

事業所名		横浜市北部地域療育センター 保育所等訪問支援		公表日	令和8年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0	園の先生が作成した手順書等についてもアドバイスをしている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	利用希望者に合わせて昨年度から継続して訪問支援を実施できた。他の業務と兼務しているため、利用者数を増やすことが難しい。	職員数を増やすことは難しいが、事務的な業務を効率化することで改善をはかりたい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	保護者へのアンケートの配布日程を早めた。ただ外国語を母語とする保護者について、日本語の文面で内容が難しいため、回収が難しかった。	評価表の内容は見直しが必要
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	会議での報告を議題に入れて改善につなげている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		外部評価については今後検討
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	会議内で利用者の共有はしているが、支援の検討までは至っていない。	会議で支援内容の振り返りの場を設ける。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	年間での計画をたてて支援を行っているが、保護者との調整が難しく、計画通りにすまないこともあった。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3	決まったフォーマットは使用していない。	訪問支援に携わる職員間で共有しやすいツールを検討する。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	0	4	支援計画を具体的にたてるようにはしているが、ガイドラインに必ずしもそっているとは限らない。	年度初めにガイドラインについて確認していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	職員間での事前確認をした上で支援を行っているが、他の業務と兼務のため十分でないこともある。	キーになる職員が中心になり細かい打ち合わせをしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	センター内でも他職種の意見や助言を受けて専門性を生かした支援につなげている。	
	24	(自立支援)協議会の子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2	日程調整をしてソーシャルワーカーが参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	親子に合わせた情報提供をしているが、外国語を母国語にする保護者に関しては参加が難しい。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	保護者同士のつながりについての支援はあまりしていない。	センターで実施する保護者むけ講座などについても積極的に案内していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4	ホームページはあるが、SNS等の発信はしていない。	センター内で検討していく。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	2	外国語を母語とする保護者について、お渡しする文書は日本語のまま、対面で説明するようにした。	契約内容やアンケートの説明は個々の職員の対応にまかされているため、センターとして検討していく。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	4	職員での緊急時の訓練はしているが、家族への訓練は通園のみ実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		